

5月3日(火祝)

TUE 3 MAY

H11 11:20 AM

渡邊荷之助、渡邊茂人、川瀬隆士 能舞
中村香耶 洋舞
ガルガン・アンサンブル

シューベルト 弦楽四重奏曲 第13番「ロザムンデ」(弦楽合奏)

- I. アレグロ・マン・ノン・トロツポ
- II. アンダンテ
- III. メヌエット: アレグレット
- IV. アレグロ・モデラート

邦楽ホールで能舞とクラシックの出会いを体感する。渡邊荷之助らによる能舞と、若手奏者たちを中心とするガルガン・アンサンブルの競演で、演目はシューベルトの美しい弦楽四重奏曲「ロザムンデ」。第2楽章の主題は、同名の劇音楽の「第3幕への間奏曲」の愛らしいメロディが転用されたもの。ウィーンの温かみのある旋律と日本の能舞から、国も時代も超えたドラマが現れる。

Junnosuke Watanabe, Shigeto Watanabe, Takashi Kawase Noh Dance
Kaguya Nakamura Modern Ballet
Gargan Ensemble

Franz Schubert String Quartet No. 13 in A minor, D 804
"Rosamunde" (String Ensemble)
I. Allegro ma non troppo
II. Andante
III. Menuetto: Allegretto
IV. Allegro moderato

H12 2:10 PM

清水和音 ピアノ

ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 第14番「月光」

- I. アダージョ・ソステヌート
- II. アレグレット
- III. プレスト・アジタート

ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 第8番「悲愴」

- I. グラーヴェ - アレグロ・ディ・モルト・エ・コン・ブリオ
- II. アダージョ・カンタービレ
- III. ロンド: アレグロ

ピアノの名人、清水和音がベートーヴェンの「月光」と「悲愴」を弾く。古典派の枠組みを超える表現や挑戦的な形式を生み出し、その後のロマン派の扉を開いた重要な2作品。静かな抒情、深い情感、熱き情熱、聴く人を惹きつける力強さと繊細さなど、ロマンティックな要素がたっぷり味わえる、2大ソナタの午後。

Kazune Shimizu Piano

Ludwig van Beethoven Piano Sonata No. 14 in C-sharp minor, Op. 27-2

- I. Adagio sostenuto
- II. Allegretto
- III. Presto agitato

Ludwig van Beethoven Piano Sonata No. 8 in C minor, Op. 13

- I. Grave - Allegro di molto e con brio
- II. Adagio cantabile
- III. Rondo: Allegro

H13 5:10 PM

石川県箏曲連盟

藤舎真衣 笛

北村雅恋 箏

稲垣絢子 ソプラノ

ジドレ ヴァイオリン

ルドヴィート・カンタ チェロ

西下航平 ピアノ

中田章 早春賦

岡野貞一 春の小川

滝廉太郎 荒城の月

滝廉太郎 花

シューベルト 子守唄

シューベルト 野ばら

岡野貞一 ふるさと

サティ ジュ・トゥ・ヴ

音楽祭ならではの、和と洋が出会う舞台。和の楽器は箏と横笛、洋の楽器はヴァイオリン、チェロ、ピアノのピアノ三重奏で、そこにソプラノ稲垣絢子の歌声がしなやかに乗っていく。早春賦、春の小川、荒城の月、花、ふるさと、シューベルトの子守唄など、和と洋の名曲が組み合わせられることで、新たな表現を体験できるはず。